

知ろう! あそぼう! 楽しもう!

# はじめての手話①

# 手話を知らう!

監修:大杉 豊(筑波技術大学 教授)



おし  
教えて!

# 「きこえとことばの教室」 に通う小学生の1日

発音の練習や読み書きの勉強をする「きこえとことばの教室」という学級に通っている、小学3年生の玲菜さんに話を聞いたよ! 玲菜さんは、どんな1日をすごしているのかな?

## 6:45 起床

ねているときは人工内耳を取っていて、起きたら人工内耳をつけます。人工内耳を取っているときは、声や音が聞こえづらいので、家族とは手話で「おはよう」とあいさつをすることもあります。



教えてくれるのは

玲菜さん

小学3年生。日常生活では、人工内耳をつけて声や音を聞き取っています。本を読むことが大好きです。

玲菜さんの自己紹介が動画で見られるよ!



おはよう。

設定アイテム!



ピンク色の目覚まし時計が鳴ると、まくらの下に置いた黒い部分がブルブルふるえて、目覚ましが鳴っていることを教えてくれます。



人工内耳をつけるよ。



人工内耳をつけると、音がきれいに聞こえて、訓練することで聞き取りやすくなるんだって!

## 8:40 学校へとうちやく

「きこえとことばの教室」は、玲菜さんが毎日通っている小学校とはちがう小学校にあります。「きこえとことばの教室」の学級がある小学校へは、週に1回、午前の時間に通っています。



おはよう  
ございます!

## 8:45 授業開始



何がいちばん楽しかった?

ローラーすべり台が楽しかった!

今日は、遠足の写真をモニターにうつしながら、楽しかったことやおもしろかったことを、先生に話します。



話に出てきた言葉を、先生がホワイトボードに書いて、言葉を集めます。

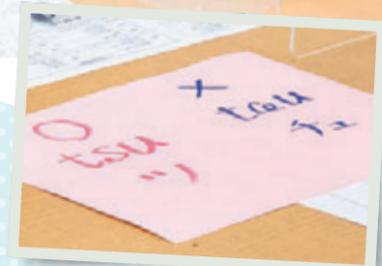


先生といっしょに、いろいろな言葉にふれながら、発音がむずかしい言葉もうまく発音できるように練習しているよ。

「ツ」と「チュ」は発音がいていてむずかしいな〜。



遠足の作文を書きます。



話に出てきた言葉のなかから、発音がむずかしい「ツ」と「チュ」の発音を練習します。

からだ うご  
体を動かして  
あそぶ



せんせい  
先生、  
おして!

もっと  
まわ  
回して~。

おもしろい!

トランポリンも  
あるよ!



「きこえとことばの教室」には、いろいろな遊具があります。体を動かして思いっきりあそぶと、玲菜さんから自然とたくさんの言葉が出てきます。あそぶことも、言葉を引き出す大切な活動です。



べんきょう せんせい ふたり おこな  
勉強は先生と2人でい  
ますが、同じ「きこえと  
ことばの教室」に通っている  
友達とこうかんノートをし  
たり、お楽しみ会などで  
交流をしたりしています。

ともだち こうりゅう  
友達と交流できると  
たの  
楽しいね!



### 10:45 授業開始

「きこえとことばの教室」の授業が終わったら、毎日通っている小学校へ行って授業を受けます。



みんなといっしょに  
受ける授業もおもしろい!



じゆぎょうちゆう じんこうない し  
授業中は、人工内耳をつけて  
いても言葉が聞き取りにくいこ  
とがあります。そこで、先生  
が話した言葉をマイクで拾っ  
て、人工内耳に音をとどける  
「ロジャー」という機器を、先  
生が首からかけています。

やくだ  
役立つ  
アイテム!



こくご じゆぎょう  
国語の授業では、となりの席の友達とこうごに音  
読をしています。

### ひるやす 昼休み

ひるやす  
昼休みは、タブレットでゲーム  
をしたり、みんなでおいごっこ  
をしたりしてあそんでいます。



かけっこも  
たの  
得意だよ!

### 15:00 帰宅

いえ かえ  
家に帰ってきたら、宿題をして、  
YouTubeを見たり、読書をし  
たりしてすごします。

じゆがくしゆう  
自主学习では、  
世界の国旗を調べたり、  
いろいろな実験を  
まとめたりしているよ!



なつやす  
夏休みの自由研究では、  
世界地図をがんばって  
書き写したよ!



ユーチューブ み  
YouTubeを見るときは、「ロジャー」をタ  
ブレットにつけて、音をはっきりと聞き取  
れるようにしています。



れいな  
玲菜さんは、本を読むことが大好き。日  
本や世界のれきしの本、都道府県の地理  
の本など、たくさんの本を読みます。

しやうらい  
将来のゆめは、  
ほんや  
本屋さんになる  
ことなんだって!



# こんなふうに話してみよう!

## コミュニケーションしてみよう

耳が聞こえない人のなかには、話している人の口の動きを見て、言葉を読み取り、発音をする「口話」の教育を受けている人もいます。「あな」と「花」のように、口の動きがにている言葉を読み取るのはかんたんではありませんが、ゆっくり、はっきり話しかければ、伝わりやすくなります。

まだ手話を覚えていないから話しかけられないと思う必要はありません。話した言葉のとおりには伝わらなくても、口の動きと身ぶりを合わせたり、紙に書いたりして伝えることもできます。はずかしながら話しかけてみれば、きっと友達になれるはず。話し方のポイントをいくつか紹介します。

### 目を見て話す

しっかり目と目を合わせて話すことが大切! どのような気持ちなのか、伝わりやすくなるよ。

### 順番に話す

何人かで話すときは、口の動きや手話が見えるように、1人ずつ順番に話すよ。



### ゆっくりはっきり話す

口をはっきりと開け、早口にならないように話そう。

### 正面に立つ

口や表情が見えるように、相手の正面に立つ。後ろから話しかけるときは、かならずかたを軽くたたいて合図するようにしよう。

### 身ぶりを使う

言葉に身ぶり(ジェスチャー)をつけて、わかりやすく伝えよう。

## 聴力をおぎなう補聴器・人工内耳

耳が聞こえない人の多くは、聴力をおぎなう機器をつけています。補聴器は、耳につけて音を大きくする機器です。人工内耳は、音を電気信号に変えて、音として聞こえるようにする機器で、耳のおくなどにうめこむ装置も必要なため、手術をします。どちらも、つけることで聞こえやすくなりますが、機器をつけても、完全に聞こえるというわけではありません。補聴器は、まわりの雑音を大きくしてしまう弱点もあります。



## 伝えるには、こんな方法も

むずかしいふくざつな内容の話を伝えるには、文字を書いて伝え合う筆談で話しましょう。ペンと紙さえあれば、いつでもどこでもかんたんに会話をすることができます。

筆談のコツは、話そうとすることすべてを文字にするのではなく、伝えたい内容のポイントをおさえて短く書くこと。最近では、便利な機器もいろいろ登場しています。

## 文字で会話する便利な道具



### 電子メモパッド

画面に文字や絵を書くことができます。ボタンをおすだけで文字が消せるので、くりかえし何度でも使えて便利! うすくて軽いので、持ち運びやすくなっています。



### 会話が見えるアプリケーション

話した言葉が、スマートフォンの画面に文字で表示されます。文字を打つこともできるので、耳が聞こえない人と聞こえる人の会話や、聞こえない人同士の会話にも使えます。

# 手話って、どんな言葉？

## 聞こえない人たちの大切な言葉

声で伝え合う「音声の言葉」が使えないとき、あなたは、どうやって人と話をしますか。多くの方は、紙などに字を書いて、言いたいことを伝えようとするでしょう。でも、毎回それでは時間がかかってしまい、たいへんです。

そこで、目で見てわかる言葉が生み出されました。それが「手話」であり、音声の言葉と同じように、国際的にみとめられている1つの言語で、「手話言語」とよばれることもあります。

手話では、手の形や位置、動きによって、さまざまな意味を表します。そして、手話で話すときは、顔の表情をつけることが大事です。声で話すときに声の調子を変えるのと同じように、顔の表情や身ぶりを使って、気持ちをゆたかに表現することができます。

手話は、聞こえない人がまわりの人たちとコミュニケーションを取るために、とても大切な言葉です。

楽しい！

### 体の向き

手話で話すときは、相手が目で見てわかるように、体をその人に向けよう。

### 動きや速さ

動きの大きさや速さを変えて、気持ちや様子を表現しよう。たとえば、「とても楽しい」なら、手を上下に大きく速く動かすよ。

### 頭や首の動き

手を動かすのと同じように、頭や首も動かす手話があるよ。たとえば、「ありがとう」なら、頭を少し下げ、おじぎをするような動きをするよ。

### 表情

伝えたいことの内容がうれしいことなのか、悲しいことなのかなど、気持ちを表情で表そう。

### 手と指

手と指の動きが、手話の基本！動きがよくわかるように、相手にしっかりと見せるよ。



16～17ページの手話が動画で見られるよ！

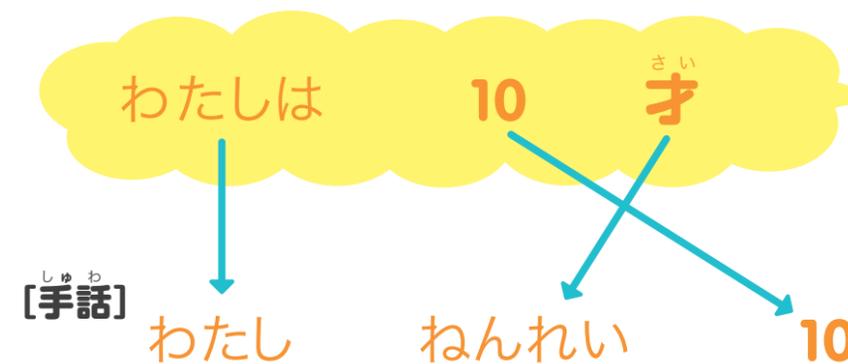


## 手話ならではの文の作り

手話は、音声の言葉をそのまま手で表したものではありません。手話には手話の文法があり、単語の順番が音声の言葉とちがうこともあります。



### [音声の言葉]



## POINT! ここがいいね!

### 手話のみりよく

手話は、ものの大きさや形、様子などを目に見える形で伝えることができます。たとえば、ボールがはねたことを手話で伝える場合は、どのぐらいの大きさのボールが、どのぐらいはねたのかをわかりやすく伝えられます。

